

事業所通信



〒520-0113 滋賀県大津市坂本 6-25-30 TEL: 077-579-7121 <http://shigamin.jp/sakamoto/>

半数以上が「医療費は負担」と回答（滋賀民医連アンケート） 75歳以上の医療費負担2割化法案は参議院で廃案にしましょう

75歳以上の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げる法案が5月11日、衆議院で自民党・公明党・日本維新の会・国民民主党の賛成により可決され、参議院へ送られました。対象は、単身世帯で年収200万円以上、夫婦世帯で年収320万円以上の高齢者で、全国の約370万人、滋賀県では約4万人（23%）の方が2割負担で、現在も3割負担の現役並み所得の方をあわせると、75歳以上の3人に1人が2割以上の医療費となります。

政府は、1880億円の給付が削減できるとしていますが、現役世代の負担軽減は月額30円程度にとどまります。また、そのうち受診抑制により900億円の減少と試算しています。



滋賀民主医療機関連合会では、今年1月～3月に患者さんなどを対象にアンケートを行い、910名（75歳以上492名、75歳未満404名）の方にご協力をいただきました。

（1）今の医療費の支払いが負担と感じたことがありますか
「負担と感じたことが

ある」468名54%
（75歳以上は252名54%）
（2）医療費が2割負担になった場合の負担感について
「とても負担」384名46%、「少し負担」288名35% 「負担」合計81%
（75歳以上は「とても負担」227名48%、「少し負担」160名34%で82%）
（3）医療費の支払いが苦しいことが理由で受診をためらったり、我慢したことがあるかどうか
全体では「控えたことがある」118名15%
（70歳以上は101名20%）
医療費の支払いが負担だと感じる人は年代を問わず半数以上で、経済的理由で受診を控える方が2割と、全世代に渡って窓口負担が重くのしかかっています。また、高齢者は複数診療科など受診回数も増えるため、年収に対する窓口負担割合で見ると75歳以上は、40～50代の2～6倍近く負担している実態が報告されています。
高齢者の窓口負担を2倍にすることは、いままで以上に受診抑制を深刻化させ、疾患の重篤化や医療費の増大を招くことが予想されます。
医療費2割負担に反対する署名は全国で100万筆を超えています。コロナ禍のなか、さらに受療権を侵害し、高齢者の暮らしといのち、健康を脅かす法案は参議院で廃案にしましょう。

**★新型コロナワクチンの予防接種は、
当院では接種を予定していません（5/13 現在）**

ご迷惑をおかけしますが、大津市の集団接種会場等でのご予約をお願いします。
なお、当院の在宅患者さんや高齢者施設の入所者さんには6月以降に出張接種を予定しています。